

室に無きを柳の影よりて城下に續く村々
ハ耕作の爲に地勢の整うさる所ハ近き所
ともありーもや信正曰正徳年中秋田
郡内白市村云々希と云ー百姓百六十
歳の齡よりて預金ー預ふる七十年以前
ハ酒田ハ荒上川の南飯森山の西よりー
今も泉流す村なりといふ所志の人多き所
ー今の酒田ハ僅に泉居ありー次郎に
川を越て北に移り住ーと云々希預ける
と正徳元年より七十年以前ハ文明十

四年に其頃今の酒田皆ハ川の南にありし
よりハありーに大河を隔て城壘をう
つー黎民の居宅なりーて城下に人少く
ハ何を以て可用を測るーもや云々希百
七十年以前ハ今の酒田ハ荒上川の南に
ありーといふハ往古より既に引越す
所ハ城下に續く小村の跡りてありけり
を以て預りーもや泉流す村も城下
續く村ありーもや泉流す今酒田ハあり居
を近くー所の祀之神學於聚曰徳洲玉目の